

イベント報告・連絡先

2013.1.21 「ボルシチ、ペリメニ、ブリヌイ」ロシア料理

1月21日(月)、能見台地区センターで、「ロシア料理」 「ボルシチ」(ロシア風スープ)、「ペリメニ」(餃子によく似た料理)、「ブリヌイ」(クレープのようなデザート)の三品を作って楽しみました。参加者は一般参加者16名に講師のナターシャ・ベキッチさん、ラウンジ会員でした。(総勢20数名)

講師は特に食材にこだわり、ボルシチに使うビーツ(砂糖大根)は生をとという事で、担当者が北海道から取り寄せました。風味が出てとても美味しくできました。卵の割り方、人参の切り方など、日本とは違うやり方があることも知りました。

また、何人かほかの国の参加者も交えて、それぞれの国の料理の違いを話したりして楽しい時をすごしました。



当日のアンケートより

- ・料理はとても美味しくできた。
- ・調理の進め方や説明はていねいでよくわかった。
- ・ロシアの料理や文化にとっても興味をもつようになった。
- ・知らない方々同志、交流が持てた。

ラウンジ窓口スタッフを経験して 宋継臣



中国の黒竜江省から来た宋継臣です。2011年8月から今年の3月25日の横浜市立大学の卒業式まで、金沢国際交流ラウンジの窓口スタッフとして1年8か月勤めました。この期間、パネルディスカッションに参加して故郷のことを紹介したり、多くの留学生にボランティア活動を紹介したりして、日本人と外国人の交流を促進するために頑張りました。卒業した後、中国に帰って就職するつもりです。日本に留学した間の体験、特に交流ラウンジで働いたことは、私にとって貴重な経験です。この経験を生かして、将来は日中両国の各分野の交流を促進するために力を注ぎたいです。

「お詫びと訂正文のご案内」ラウンジニュース25号「パネルディスカッション」の記事中のバンタン・フラート氏のプロフィールを下記のように訂正させていただきます。
正 東京工業大学 国際開発工学科 卒
誤 東京工業大学 国際工学科 卒
関係者の皆様にご迷惑をかけた事、お詫び申し上げます。

編集後記

平成24年度は、ラウンジニュースを5回発行しました。かかわった部員が記事を書き情報広報部、窓口部が編集しました。今後も、地域とのつながり、多文化共生を考え皆さまにラウンジの活動をより多く、わかりやすくおしらせしていきたいと思えます。

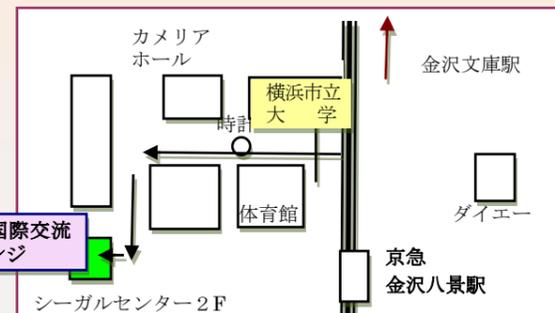
今後ともよろしくお願ひいたします。



★ラウンジ窓口のご案内★

《開館時間》日・火・水・木・金・土 9:00~17:30
月、祝日、市立大学指定休 は休館

〒236-0027 「横浜市金沢区瀬戸 22-2」
横浜市立大学内 シーガルセンター2階



☎ 045-786-0531 Fax 045-786-0532

▶外国語で相談

毎週火曜日 13:00~17:00 スペイン語
Los Martes por la tarde(13:00~17:00)
Consulta en Español

毎週水曜日 9:00~13:00 中国語
毎星期三 9:00~13:00 中国語

▶【日本語教室】

場所：金沢国際交流ラウンジ
日曜日 火曜日 木曜日 土曜日 10:00~11:30

▶【かもめ教室】

土曜日 日曜日 10:00~11:30 ラウンジ
火曜日 15:30~19:30 オフィスかなざわ
金曜日 15:00~16:30 並木北コミュニティハウス
かもめ教室専用 ☎045-786-0534

金沢国際交流ラウンジニュース

No. 26
2013年3月25日発行

KANAZAWA
INTERNATIONAL
LOUNGE

発行 金沢国際交流ラウンジボランティア会
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2 横浜市立大学シーガルセンター2F
TEL:045-786-0531 / FAX:045-786-0532
URL <http://www.kanazawalounge.org/>

2012年度の重点課題を振り返って

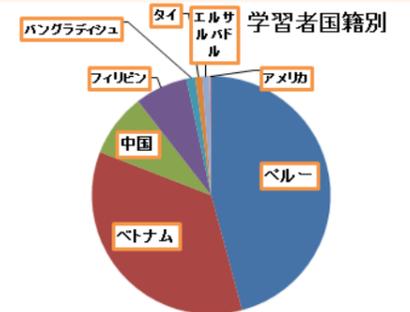
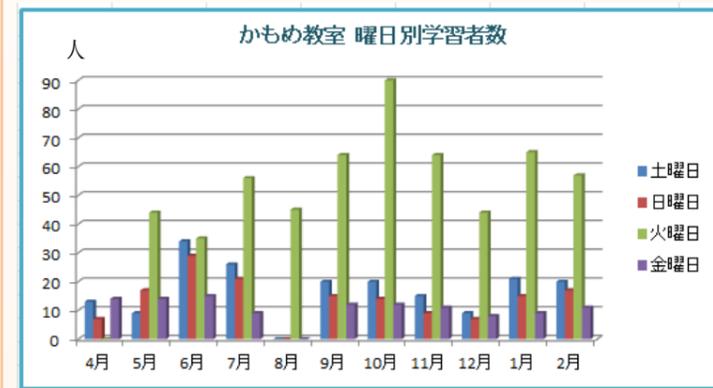
代表 武田美智子

1年前、日本語を指導していた韓国人児童(小学校4年男子)が、母国に帰ることになった。その時、「大きくなったら、もう一度日本に来て、日本語の勉強をする。通訳者になって、日本と韓国がもっと仲良くなるようにしていきたい。」と言って私を驚かせた。日本の子どもはこのようなことを言えるだろうか。いろいろ考えさせられた。同時にこの言葉が「外国人の子どもへの日本語指導」を続ける私の心の支えと力になり、今に至っている。

24年度のラウンジ運営の重点課題は「外国につながる子どもの学習支援」を充実させることだった。23年・24年度と2回の教師養成講座を経て、24年度は並木地区の「オフィスかなざわ」に新教室を開校し、4教室で指導することができるようになった。並木地区には外国人の子どもが多く居住しているため、学校の下校時間に合わせて午後7時半まで指導している。一番忙しい時間の中でのボランティアの支援に感謝している。4月~25年2月まで学習者1017名、サポーター826名と支援活動は伸びてきている。

今後は、教材、指導法に取り組み子どもの日本語力を高めることに力を注いでいきたい。

外国につながる小中学生のための学習支援 ラウンジ土曜、日曜かもめ教室・かもめ@並木火曜、金曜教室



人材育成

9月 かもめ教室
新ボランティア養成講座
◎22名のサポーターが増えました

地域との連携

6月 かもめ教室運営委員会

2月 並木地区「みんなで発表会」

各事業

4月~学校入り込み支援サポーター派遣(ラウンジ窓口)
・初期支援
・母語支援
・教育支援隊

外国人へ情報提供

11月 講演会
日本の学校教育と高校進学

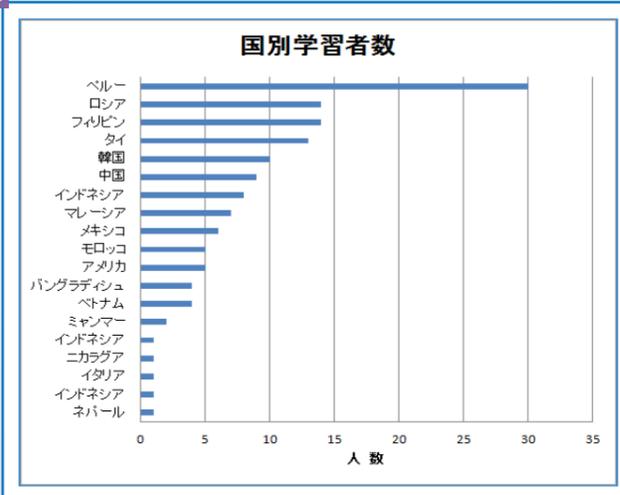
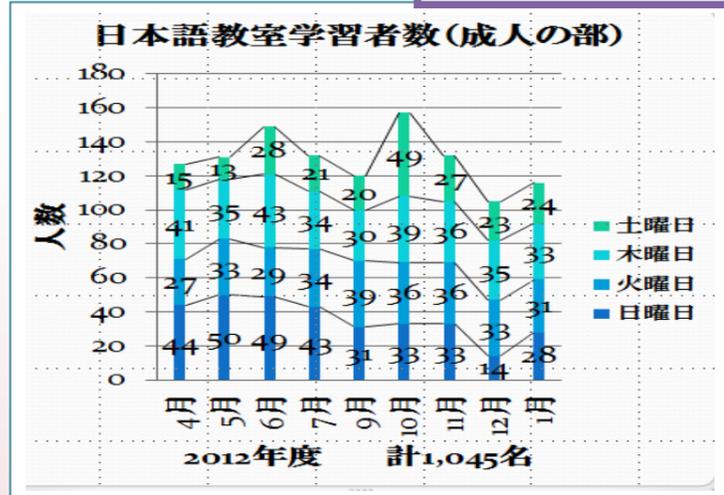
ボランティアのための研修

2月 iPadの使い方、朗読の練習

12月 適切な翻訳の方法と広報紙作成

日本語教室 学習者

2012年の統計から



日本語教室・かもめ教室
スピーチ発表会

2013年3月2日～7日まで、各教室で日本語スピーチ発表会が開催されました。3月2日、3日は、成人の日本語教室と子どもたちが学習するかもめ教室との共催で行ないました。どの教室も終始和やかな雰囲気で行われ、発表者は日ごろの学習の成果を十分に発揮することができた、楽しく、充実した会でした。

3月2日 土曜日

かもめ教室の子どもたち、日本語教室の成人学習者、ボランティアなど多数の方々の参加があり、スピーチの後の茶話会も含め大盛況でした。

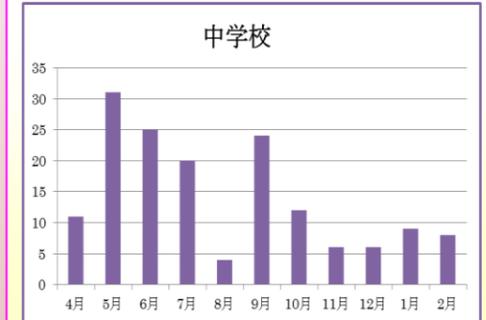
スピーチの発表者は、かもめ教室からは6名、日本語教室からは7名でした。子ども達のスピーチは実に堂々としていて、はっきりとした声で話しました。「あっ」と驚くような話や童話、日常生活の困った事など実にすばらしい発表でした。成人の学習者からは日本の良さ、やさしさを巧みに紹介され、感動しました。



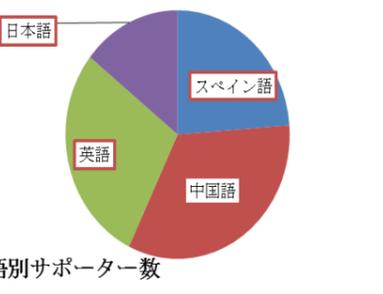
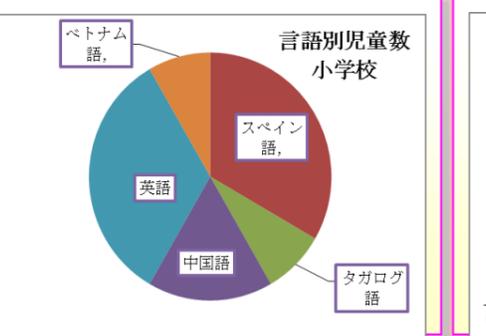
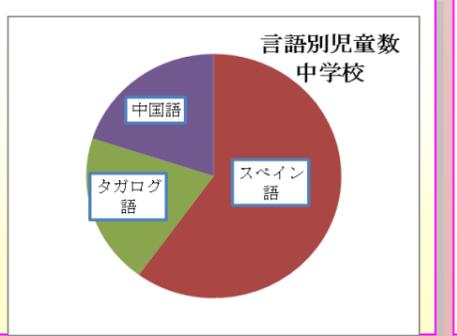
3月3日 日曜日

発表者、子ども4人、成人9人でした。学習者が司会も担当しました。iPadの映像を使いながらのペルーのお祭りの紹介や、「一人じゃないよ」の物語感想文、自分のこと、家族のこと、国のこと、また、「雨ニモマケズ」の朗読や、手作りの作品を持参して、デザイナーへの夢を語ってくれたかもめ教室の子どもたち。多彩な内容の発表会でした。

続くパーティーでは、自国の言葉で1曲ずつ歌ってもらい、最後に「春が来た」の大合唱で終わりました！



学校入り込み支援サポーター
《窓口派遣件数》



かもめ教室並木「みんなで発表会」を実施

まだ教室としての活動期間が短い並木地区の2教室合同で、1年間の成果を「みんなの前で話す」という事で表そうとこの会を計画しました。

2月26日(火) オフィスカナざわで17:30～19:20まで、発表を行う第1部と、交流を深める第2部に分けて行いました。12月からの計画で、第1部の発表では、「紙芝居」、「音読」、「作文発表」などを行いました。事前にチラシを作り、家族、友人、先生、などへの来場を呼び掛けてきました。当日発表者はやむなく欠席した子を除き、12名でした。どの子も、緊張した面持ちながら、精一杯の発表を行いました。この会には、金沢区長、副区長をはじめとした区役所の方々、そして子供たちの在籍する学校の校長先生ならびに関係の先生方がお集まりくださいました。

(総勢56名)
多くの方々に見ていただけたことは、一人ひとりの子ども達への大きな励みとなりました。さらなる歩みの一歩としていきます。



3月5日 火曜日

火曜教室では、8名の学習者がすばらしいスピーチをしました。司会も学習者が担当して上手に会を進めることができました。さらに質疑応答や感想でも学習者がたくさん発言して、充実した会になりました。学習者の日本語の上達ぶりにボランティア一同感激しました。

スピーチ発表会の後の茶話会では、お茶やお菓子、そして学習者の差し入れもいただきながら、楽しいひとときを過ごしました。最後に「春が来た」「さくらさくら」を皆で歌って終了しました。



3月7日 木曜日

3月7日、木曜教室のスピーチ発表会が行われました。発表者は10名でした。学習者は皆、日ごろの学習の成果を発揮し、日本語で思考し、聞く人たちの共感を呼ぶ話をしました。

レベルの高い、「心」が伝わるスピーチでした。緊張の中にも自信を漂わせ、笑顔で発表する姿に指導したボランティアも共に喜びに浸りました。写真撮影の後の茶話会は和やかな懇談となり、やがて輪となって歌を歌うにつれ、木曜教室の絆が強まった感動を覚えました。

